

# 公共施設予約システムが変わります

凡例  
※費用の記載がないものは無料  
HPホームページ  
Eメールアドレス

10月2日(水)から中央区公共施設予約システム(体育施設は除く)を更新します。

システムの更新に併せて、キャッシュレス決済を開始します。

### 新システム稼働開始日時

10月2日(水) 午前10時~(予定)

### 更新に伴うシステムの休止

システム更新に伴い、以下の期間休止します。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

### システム休止期間

〈体育施設以外〉

9月29日(日)午前0時~10月2日(水)午前10時(予定)

〈体育施設〉

9月29日(日)午前0時~10月1日(火)午前9時(予定)

◎システム休止期間中の予約の申し込みなどについては各施設にお問い合わせください。

### ホームページアドレスの変更

公共施設予約システムのホームページアドレスが以下のとおり変更になります。インターネットのお気に入り登録している場合は、変更をお願いします。

### 新システムホームページアドレス

<https://chuo-yoyaku.openreal02.jp>



新システムHP



### キャッシュレス決済の開始

実施する施設は別表の各施設窓口◎以下の施設ではインターネット上での支払いが可能です。

- ・日本橋社会教育会館ホール
- ・月島社会教育会館ホール
- ・アートはるみギャラリー(展示利用の場合のみ)

### 窓口で利用できるキャッシュレス決済

- ・電子マネー (iD・QUICPay・WAON・nanaco・楽天Edy)
- ・交通系電子マネー (PASMO・Suica・Kitaca・TOICA・ICOCA・SUGOCA・nimoca・manaca・はやかけん)
- ・クレジットカード (VISA・Mastercard・JCB・AMERICAN EXPRESS・Diners Club)
- ・二次元コード (PayPay・d払い・楽天ペイ・auPAY・メルペイ・Alipay・WeChat Pay)

### オンラインで利用できるキャッシュレス決済

クレジットカード(VISA・Mastercard・JCB・AMERICAN EXPRESS・Diners Club)

◎現金とは併用できません。

◎窓口でのチャージはできません。

問 システムの操作などについて情報システム課開発支援係 ☎(3297)0211

・キャッシュレス決済の拡充について情報システム課デジタル推進係 ☎(3297)0211

◎施設の利用については、各施設にお問い合わせください。

### 別表

No.	施設名	システム更新	窓口キャッシュレス
1	男女平等センター「ブーケ21」	○	○
2	各区民館	○	○(※1)
3	晴海地域交流センター「はるみらい」	○	○
4	浜町集会施設「浜町メモリアル」	○	○
5	日本橋公会堂(集会室) ※休館中	○	-
6	各社会教育会館	○	○
7	月島運動場	×	○
8	豊海テニスコート	×	○
9	学校体育施設	×	○(※2)
10	江戸川河川敷グラウンド	×	○(※2)
11	産業会館	○	○
12	ハイテクセンター	○	○
13	環境情報センター「エコノバ」	○	○
14	京橋図書館「本の森ちゅうおう」	○	○

(※1) 八丁堀・堀留町区民館は休館のため除く  
(※2) スポーツ課窓口での支払い分

## 標準服・園服の譲渡を開始します!

~中央区標準服等リユース事業「リゆぼ〜と」~

本年4月にスタートした「標準服等リユース事業」は、卒業や成長に伴って着られなくなった区立学校・幼稚園の標準服・園服を回収し、クリーニングや補修を行った上で、必要とする子どもの保護者にクリーニングなどの実費相当額で譲渡するものです。

4月から回収・クリーニングなどを行っていましたが、9月から譲渡準備が整った標準服・園服の譲渡会を開始します。

### 第1回譲渡会

日時 9月7日(土)

午前10時~午後3時

会場

京華スクエア1階展示場

### 対象

事業に参加している区立学校・幼稚園に在籍している子どもの保護者(お子さんには譲渡を行いません)

◎譲渡の際、本人確認書類とお子さんの在籍校・園を確認できる書類が必要です。

◎譲渡金額、確認書類、第2回以降の譲渡会の日程などはHPをご覧ください。

### 標準服・園服の寄付

引き続き受け付けています。不要になった標準服・園服がありましたらぜひご寄付ください。

問 環境課環境啓発係

☎(6278)8243



区HP

ちゅうおう 区のおしらせ



SNSなど 区の公式



### 蘭学事始地

都指定文化財 旧跡 明石町11番先

現在の明石町地区には、江戸時代前期から中期(元禄赤穂事件)まで播磨国赤穂藩の藩邸(上屋敷)が置かれていました。東京都では赤穂事件ゆかりの文化財「浅野内匠頭邸跡」として、旧屋敷地(現在の明石町10・11および1番街区の南半分)を旧跡指定しています(令和6年6月21日号で紹介)。

なお、赤穂事件が発生する前の天和元年(1681)の時点で、築地鉄砲洲にあった浅野家の広大な上屋敷は概ね東半分(現在の明石町5・9・12番)が収公され、当該地は譜代大名・奥平家(拝領時は出羽国山形藩、数度の移封後に享保2年(1717)から豊前国中津藩)の中屋敷と松平家一門の旗本・榊原家(交代寄合表御礼衆(譜代大名の嫡子に准ずる待遇)と称された旗本の一家)の拝領屋敷地とし

て幕末まで続きました。

前者の豊前国(現在の大分県)中津藩奥平家といえ、蘭学に傾注した人物(いわゆる「蘭癖大名」と称された)の一人として、第5代藩主・奥平昌高(1781~1855)がよく知られています。また、第3代藩主・奥平昌鹿(1744~1780)の藩政では、中津藩医・蘭学者であった前野良沢(1723~1803)のオランダ語研究を庇護し、良沢を中心にオランダ語版の人体の解剖書『Ontleedkundige Tafelen』(原書『Anatomische Tabellen』はドイツ医師クルムス著、オランダ人医師ディクテンがオランダ語訳し1734年にアムステルダムで出版)の翻訳という歴史的な業績があったことも知られています。なお、数年に及ぶこの事業が奥平家中屋敷(現在の明石町9番の概ね西半分および12番)内で行われた史実を踏まえ、当地は東京都の旧跡指定(文化財名称「蘭学事始地」)を受け、隣地には記念碑が建立されています。

後に「蘭化」と自号(藩主昌鹿が「蘭学の化け物」と称したことになむ)するほどオランダ語研究に情熱を注いだ中津藩医の前野良沢は、47歳の時に日本橋生まれの蘭

学者・儒学者である青木昆陽(1698~1769)に師事してオランダ語を学びました。明和7年(1770)には、藩主昌鹿に随行して国元(中津)へ下向した際に長崎遊学の厚遇を受け、長崎で吉雄耕牛(1724~1800)をはじめとする阿蘭陀通詞からオランダ語を習得し、後に訳述に挑む『Ontleedkundige Tafelen(日本の通称:ターヘル・アナトミア)』などの蘭書を入手して江戸に戻りました。

そして、明和8年の3月に町奉行所から小塚原の仕置場で人体の腑分け(解剖)を行う知らせを受けた若狭国(現在の福井県)小浜藩医・杉田玄白(1733~1817)が、本石町三丁目の長崎屋でオランダ商館長から蘭訳の解剖書を手した同藩医・中川淳庵(1739~1786)と、既に同書を有していた中津藩医・前野良沢を参観に誘い、奉行所の許可のもとで実際の腑分けと解剖図との実見比較を仕置場で行い、同図の正確さに驚嘆したといわれています。この出来事を契機に、翌日から中津藩邸内の良沢宿所に同志(杉田玄白・中川淳庵・桂川甫周・石川玄常(途中から参加)ら数名)が参集し、オランダ語版の解剖書から人体の内部構造を解き



蘭学事始地の石碑

明かすべく同書の訳述に取り組みました。作業に当たっては、オランダ語に対する一定の知識があった良沢を翻訳主幹とし、困難を極めた人体器官と訳述の対応のみならず、同志の語学習得の教授をも同時に行いました。約3年に及ぶ苦心の末の成果は、安永3年(1774)に地本問屋・須原屋市兵衛から全5巻の『解体新書』(訳述は正文のみ、付図は解剖書などからの模刻(秋田藩士・小田野直武画))として刊行されています。

なお、同書刊行に至るまでの経緯や翻訳の苦心談などは、現場に身を置いた杉田玄白による晩年の回顧録(『蘭学事始』)からも読み取ることができます。

中央区教育委員会

学芸員 増山一成

(8)

「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。